

以久科豊倉地区土地改良事業計画概要書

1	目的 本地区は斜里町市街地南部の幾品川及び秋の川流域に位置し、畑作3品である馬鈴しょ、麦類、てん菜を中心に、たまねぎ、人参等を併せた畑作野菜複合営農が行われている。地区内は営農集団が組織されており、コンバインなど農業機械の共同利用によって一体的な営農を展開している地域であるが、排水不良農地や、また作土に石礫を多く含むほ場、堅密な土壌を含むほ場が点在している。加えて、勾配や窪地のあるほ場が未だ残されており、機械の作業効率を高めるうえでの大きな障害となっている。このため本地区では、区画整理、暗渠排水、客土、除礫などの面的整備を一体的に実施することにより、生産基盤を強化し、地域農業の生産効率・安全性の向上及び競争力強化を図る。									
	2 地域の所在		斜里郡斜里町							
	2 地域の現況									
	ア 地 形		斜里町市街地の南東部に位置し、二級河川幾品川が地区南西部を流下している。地区内は斜里岳山麓から海岸にかけたなだらかな平野地となっている。							
	イ 土 質		母材は堆積様式を水積、集積とする非固結火成岩、非固結水成岩、植物遺体からなる。							
	ウ 土 壌		泥炭土、褐色低地土、表層腐植質黒ボク土							
	エ 気 象									
	平均気温		6.2 ℃		かんがい期平均気温		15.3 ℃			
	平均降水量		802.0 mm		最深積雪深		- cm		平均降水日数 155	
	根 雪 期 間		-		無霜期間		-			
オ 水利状況		二級河川指定区間である幾品川や飽寒別排水路が地区内を流下している。								
カ 営農状況		本地域の農業は、小麦、てんさい、ばれいしょの畑作3品にたまねぎ等の高収益作物を組み合わせた複合経営を展開している。								
キ 地域環境の概況		丘陵地帯には白樺や、トドマツなどの針葉樹が植生している。								
(3) 地積及び受益戸数										
区分		地目		田	畑	山林	原野	その他	計	受益戸数 (戸)
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
区画整理	現況		442.9						442.9	40
	計画		442.9						442.9	
	現況									
	計画									
	現況									
	計画									
	現況									
	計画									
	現況									
	計画									
	現況									
	計画									
全体	現況		442.9						442.9	40
	計画		442.9						442.9	
3 基本計画	(1) 事業計画内容 土地の生産効率向上のため、区画整理を実施し、地域農業の活性化を図る。									
	(2) 環境との調和への配慮 工事における使用機械は、排ガス対策及び必要に応じて低振動・低騒音型機種を使用し周辺農家及び生物の環境に配慮する。									
4 工事又は管理の要領	主 要 事 業 計 画	事業種	受益面積		事業量及び事業内容					
		区画整理	442.9ha		整地442.9ha、暗渠排水216.8ha、補助暗渠107.7ha、心土破砕74.6ha客土7.4ha、土壌改良74.6ha、除礫3.3ha					
	造成又は改良される施設の管理方法等	施設名		管理団体名			管理方法			
5 換地計画の要領	(1) 換地計画樹立の必要性									
	(2) 換地計画樹立の基本方針 ア 従前の土地の地積の基準									
	イ 農用地集団の方法									
	換地区	地帯別、グループ		個人別換地の方法						
		別団地の設定		位置選択		1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い		

5 換地計画の要領	ウ 非農用地の換地方針						
	換地区	種類	非農用地区域 の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得 予定者	その他
				ha			
	エ 清算の方法						
	(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積						
	換地区	機能交換に係る土地				一般公有地	合計
		国有地	道有地	市町村有地	計		
		ha	ha	ha	ha	ha	ha
	(4) 換地処分の際の時期に関する特則						
6 費用の概算	事業種	事業費	負 担 区 分			工期	
			国	道	地元		
	区画整理	千円 1,600,000	千円 880,000	千円 448,000	千円 272,000	令和9年度 と 令和17年度	
		1,600,000	880,000	448,000	272,000		
7 効用	区画整理	(1) 事業の効用 区画整理により、生産性及び作業性が向上し農業経営の改善、安定を図ることが出来る。 また、総費用総便益比についても、1.98と1.00以上となっている。					
		(2) 事業効果額					
		効果項目	食料の安定供給の確保に関する効果	その他効果		計	
		効果額(千円)	197,743	33,956		231,699	
		(3) 事業負担の見通し 増加所得償還率が11.3%で40%以下であるため負担については問題ない。					
		(1) 事業の効用					
		(2) 事業効果額					
		効果項目					
		効果額(千円)					
		(3) 事業負担の見通し					
8 事業との関係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 該当無し					9 計画概要図 別図のとおり	
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法 該当無し					10 その他	